

## エコロジーと車の運転



地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を少なくするために、日常生活の中でもできることがあるんだよ。環境問題に意識的に取り組み、将来、車の運転をするときも二酸化炭素排出量の削減に貢献するような運転をしよう。

### まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

**Q1.** 車は運転の仕方によって、二酸化炭素の排出量を減らすことができる。 **Yes** **No**

**Q2.** 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くすることで、二酸化炭素排出量は減らせる。 **Yes** **No**

**Q3.** 車の運転中、5分程度の停車ならエンジンを切っても切らなくても、二酸化炭素排出量は変わらない。 **Yes** **No**

**Q4.** テレビを見る時間を1日1時間減らすと二酸化炭素排出量を削減することができる。 **Yes** **No**



→解答は次ページに!



まとめクイズの解答と解説

**Q1. Yes**

空ぶかしをしない、急加速をしないなどの運転でガソリンの消費量が減り、排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)量が削減されます。(コラム2)

**Q2. Yes**

冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くすると、年間約33kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を削減できます。

**Q3. No**

たとえ5分でも、停車中にエンジンを切ると二酸化炭素排出量を削減することができます。(コラム2)

**Q4. Yes**

テレビを見る時間を1日1時間減らすと、約14kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を削減できます。



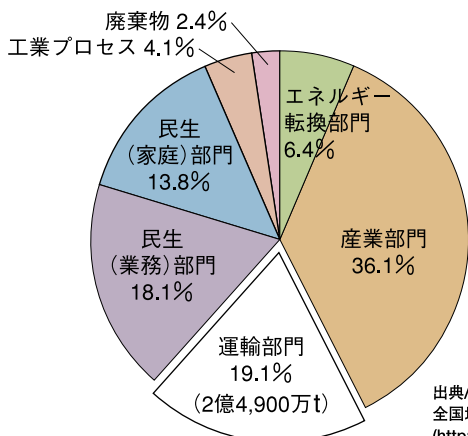
運転の仕方を変えることで、CO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができます。

コラム  
1

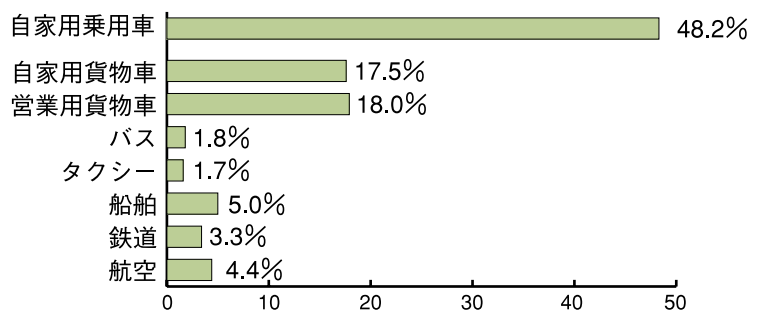
車の運転とCO<sub>2</sub>排出の関係

二酸化炭素は、グラフのように人間の営みのある、あらゆる所(工場もオフィスも家庭も移動する乗り物も)で排出されています。私たちが主として削減に貢献できるのは、家庭や学校、移動手段など生活の場所です。

グラフ1 部門別のCO<sub>2</sub>排出割合  
(2007年13億1,400万t)



グラフ2 運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量  
(2007年2億4,900万t)



出典/温室効果ガスインベントリオフィス  
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト  
(<http://www.jccca.org/>)より

資料/国土交通省

## ●地球温暖化防止のため、日常生活でできること

# 「ちりも積もれば山となる」 今日から始めよう、環境を意識した生活。

### 交通安全と環境対策には共通点がある

よい交通参加者となるためには、「自分や他者の命を大切にする」「危険につながる自分本位の行動はひかえる」「社会が決めているルールや目標を尊重する」といったことをふだんから心がける必要があります。環境問題についても同じです。1人の人間という立場で考えると、環境問題に意識的に取り組むことは、よい交通参加者となることと、本質的なところで共通しています。

### CO<sub>2</sub>排出削減のために 四輪車の運転の仕方が重要

自動車に関する環境問題には、地球温暖化(CO<sub>2</sub>)、大気汚染(CO、NOX)、省資源(燃費、リサイクル)などがあります。地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出量削減のために、日々の生活の多くの場面ですぐに実行できることがたくさんあります。今から意識して行くと、将来、四輪車を運転するようになったときも、自分本位でない、高い社会性を備えたドライバーになれるでしょう。

日本から排出される二酸化炭素の約19%は、運輸



環境に優しい運転のために、できることから始めよう

部門で占め、その約90%が四輪車の排気ガスによっ  
ています(コラム1)。二酸化炭素削減に貢献するため、  
国が税制(自動車税、自動車取得税)の軽減措置を  
通して薦めているような自動車を購入することもいい  
ですね。

## コラム 2

### 二酸化炭素削減に協力できる、運転の仕方

- ・ 停車して待つときなど、アイドリング・ストップを心がける
- ・ カーエアコンの使用時間を減らす
- ・ 空ぶかしをしない
- ・ タイヤの空気圧を適性に保つ(空気圧が低いと転がり抵抗が増える)
- ・ トランクの中などに不要な物を入れたままにしない
- ・ 急発進・急加速をしない
- ・ 等速走行を心がける
- ・ むだな走行をしないために、あらかじめ地図でルートを調べる
- ・ 渋滞の時間帯を避けて走行する



・現在あなたが行っている環境に優しいことは何ですか？



-----  
-----  
-----

・普段、路上で見かける環境に優しくないドライバーの行動は？



-----  
-----  
-----

・将来、車を買うとしたら、何を基準にどんな車を選びますか？

-----  
-----  
-----

・現在販売されている、どんな自動車環境に優しいのか、調べてみましょう。



-----  
-----  
-----



## MESSAGE

### コストを意識した運転は、環境にも優しい

堀内武徳 堀内経営研究事務所 所長

コストを抑える運転とは、どのような運転でしょうか。端的に言うと、1リットルのガソリンでできるだけ長い距離を走ることです。

それには、タイヤの空気圧などの日常点検をしっかりと行い、急ブレーキ、急加速、急発進といった「急」のつく運転はしないことです。カーブを曲るとき、タイヤを鳴らすようでは、タイヤの寿命を縮めてしまいます。スピードの出しすぎ、蛇行運転などは、不必要な燃料を消費します。アイドリングもできるだけしない。そして、安定した等速の運転を心がけます。車間距離が短いと、前の車の動きに影響されてしまい等速運転ができなくなるので、十分な車間距離も必要です。

このような運転をすると、東京ー大阪間を日常的に往復する大型トラックで、年間1台20万円の節約ができる、という試算もあります。また、コストを意識した運転は、安定していて、交通事故防止にも大変役立ちます。

環境に優しいエコドライブは、結果的に事故を起こさない運転につながるというわけです。